



【第292号 紙面案内】

第2面…大会主催校の紹介 第3～4面…各部会関連 第5～6面…各種お知らせ

第71回全国研究大会統一論題解題

大会実行委員長 小沢 一郎（専修大学）

統一論題：『イノベーション・マネジメントとベンチャー・スピリット』

日本マネジメント学会・第71回全国研究大会は、神奈川県川崎市に立地する専修大学・生田キャンパスにおいて、『イノベーション・マネジメントとベンチャー・スピリット』という統一論題のもと、6月12日(金)から6月14日(日)までの3日間の日程で開催いたします。

今日、日本企業が活動している環境は、急激なスピードで大きく変化を続けており、平時では無く乱世と言って差し支えないでしょう。中小企業から大企業に至るまで、全ての企業に現状打破のイノベーションが求められています。南カリフォルニア大学リーダーシップ研究所初代所長のウォレン・ベニス（Warren Bennis）教授は「マネージャは管理し、リーダーは革新する」と言っていますが、まさに今、日本企業のリーダー達は企業規模に拘らずベンチャー・スピリットを心底に据えて、イノベーションを推進する必要があります。俗に「平時の能吏、乱世の雄」と言いますが、リーダーが「雄」としての役割を果たすことができるかどうかは命運を握っていると言っても過言では無いでしょう。そして、イノベーションを継続して成功に結び付けるためには、イノベーションをマネジメントする組織能力の涵養も必要となります。この様な認識から今回の統一論題を『イノベーション・マネジメントとベンチャー・スピリット』と設定致しました。

また今回の全国研究大会では、この統一論題に鑑み、大会としても新しい試みを実施します。本学会の理念は「実・学一体の実践経営学」ですが、設立35年を迎えた本年、従来に増して実務家と研究者の一体化を体現すべく特別セッションを設けることとしました。学会員で実務経験豊富なパネラーの方々に、「経営現場から経営学に求める実践的課題」を投げかけて頂き、研究サイドからのコメントとフロアを交えたディスカッションをおこなう新たなチャレンジです。蕉門俳諧の理念「不易流行」を想起して下さいますと幸甚です。

さらに特別講演では、株式会社資生堂執行役員社長の魚谷雅彦氏を招聘し、「MARKETING AND INNOVATION（仮）」と題して、現在進行形のホットな経営状況と背景にあるお考えをご講演頂く予定です。

我々、大会実行委員一同、これら様々な工夫も盛り込みながら鋭意準備して参りますので、多くの皆様方のお越しを心よりお待ち申し上げます。